



新型コロナワクチン1・2回目の接種希望者は 年内の接種をご検討ください

1・2回目の接種は、なるべく早めにお受けください。

接種希望者は、市ワクチン接種コールセンターに電話でお問い合わせいただくか、二次元コードから個別接種実施医療機関一覧をご確認いただき、医療機関での接種をご予約ください(10月時点での情報は次のとおり)。

接種券の再発行申請も市ワクチン接種コールセンターで受け付けています。

■1・2回目接種に使用している従来型ワクチンは、
年内で国からの供給が終了する予定です。

1・2回目の接種は従来型ワクチンを使用します。
オミクロン株対応ワクチンは使用できません。

■オミクロン株対応ワクチンは、1・2回目接種が完了
しないと接種できません。

オミクロン株対応ワクチンは、1・2回目接種を完了した12歳以上の人が対象で、1人1回接種できます。
オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果があり、持続期間が短い可能性があるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待されています。
オミクロン株対応ワクチンは、追加接種として臨床試験を実施し、有効性・安全性が確認されているため、従来型ワクチンによる1・2回目接種を完了している人が対象です。

■年末年始の新型コロナの流行に備えましょう。
計画的なワクチン接種をご検討ください。

これまで2年間、年末年始の後に新型コロナは流行しています。流行に備えて、重症化リスクの高い高齢者などはもちろん、若い人にもオミクロン株対応ワクチンによる接種をおすすめしています。

接種のご予約はこちら
個別接種実施医療機関一覧
(市ホームページ)▶



問 市ワクチン接種コールセンター
☎0570-050-350
9時～17時
(土日も受付 ※祝日除く)



12月3日～9日は障がい者週間 考えてみませんか 障がいのこと 共に生きる社会のこと

障がいがあるために、日常生活で配慮を必要とする人たちがいます。その人たちの中には、見た目には分かりにくい障がいのために誤解を受ける人もいます。私たち一人ひとりが気づき、マナーや思いやりを持つことで、誰もが暮らしやすい社会にしていきたいと思います。

■ヘルプマークを交付しています

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している人、内部障がいや発達障がい、難病や妊娠初期の人など、外見では分かりにくい障がいや症状がある人たちが、周囲の人に援助や配慮が必要であることを知らせるためのマークです。これを持っている人が困っているときは、「何かお困りですか?」と声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

福祉課福祉係と保健センターの窓口でお申し込みいただくと、ストラップ型のヘルプマークを無料で交付しています。



ヘルプマークを持っている人に
配慮をお願いします

■電車・バスの中では席をお譲りください

健康に見えても疲れやすく、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な人がいます。外見からは分からないため、優先席に座っていることを不審な目で見られると、ストレスを受けることがあります。

■駅や商業施設などで声をかけるなどの配慮を

交通機関の事故などの突発的な出来事に対して、臨機応変な対応が困難な人や、立ち上がる・歩く・階段の昇り降りなどの動作が困難な人がいます。

■災害時は安全に避難するための支援を

視覚障がい者や聴覚障がい者などの状況把握が難しい人や、肢体不自由などにより自力での迅速な避難が困難な人がいます。

問 福祉課 福祉係 ☎63-1406 FAX 62-2881

皆さんの
意見を募集
します!

「荒尾市民病院 第三期中期経営計画(案)」に 対するパブリックコメントを募集します

市民病院では、総務省が3月に公表した公立病院経営強化ガイドラインを踏まえて、持続可能な地域医療提供体制を確保するために「荒尾市民病院第三期中期経営計画(案)」を策定します。

期 12月20日(火)～1月19日(木)(当日必着)

問 提出先 〒864-0041 荒尾市荒尾2600番地
荒尾市民病院 経営企画課 経営企画係

Eメール:hospital@city.arao.lg.jp

☎63-1115 FAX 63-1189

■閲覧場所

○市民病院経営企画課(市民病院4階) ○文化企画課(市役所2階) ○市役所総合案内(1階) ○情報公開コーナー(2階) ○市民サービスセンター(ゆめタウンシティモール2階) ○文化センター ○小岱工芸館 ○メディア交流館 ○みどり蒼生館 ○万田炭鉱館 ○中央公民館 ※施設で閲覧する場合は、開館日時に閲覧してください。

■意見提出方法

所定の意見書に必要事項を記入し、持参・郵送・ファックス・Eメール・電子申請のいずれかで提出
※電話や口頭での意見の提出は受け付けません。

寄せられた意見は個別に回答できません。

※持参する場合は、開院(開庁)している日・時間にご持参ください。

■意見を提出できる人

○市の区域内に住所を有する人
○市の区域内に事務所・事業所を有する個人や法人その他の団体
○市の区域内にある事務所・事業所に勤務する人
○市の区域内にある学校に在学する人
○その他実施機関が行う事務事業に利害関係を有すると認められるもの



電子申請
サービス

Hospital News

市民を愛する 市民に愛される 病院へ

荒尾市民病院からのお知らせ

荒尾市民病院から皆さんへ、さまざまな医療に関する情報をお届けします。

荒尾市民病院
☎63-1115

『くまもとメディカルネットワーク』の輪が広がっています

■『くまもとメディカルネットワーク』とは・・・

熊本県・熊本県医師会・熊本大学病院が連携して推進している共同事業です。熊本県内の利用施設(病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護施設など)をネットワークで結び、患者さんの診療・調剤・介護に必要な情報を共有し、医療・介護サービスに活かすシステムです。患者さんの参加費は無料。市民病院は熊本県の『地域医療拠点病院』として、くまもとメディカルネットワークを地域全域に普及させることを目標に取り組んでいます。

■災害時にも役に立ちます。

災害時やかかりつけ以外の医療機関に救急搬送された場合、緊急措置に従事する医療従事者が患者さんの情報を確認できます。これまでも、患者さんがくまもとメディカルネットワークに参加していたことで災害時の診療に役に立ったという実績があります。災害はいつ起こるかわからないため、くまもとメディカルネットワークは万が一の備えとしても有効です。



◀詳細は、くまもとメディカルネットワークホームページをご覧ください

【申込・説明】市民病院1F 相談支援センター ☎63-1115



ハイ! スクール通信

市内高校通信 Vol.34

岱志高校、有明高校、荒尾支援学校の市内3つの高校の取り組みなどをご紹介します!
地元高校の新たな魅力を発見しよう!



岱志高校

岱志高校文化祭を開催しました! (10月29日)

今年度は「岱志マーケット」と題して、地域のお店から商品を仕入れて販売し、生徒のご家族に荒尾のおすすめグルメを紹介することができました! そのほか、美術工芸コースの作品展やお化け屋敷・理科実験教室・ものづくり体験・バンド演奏など、盛りだくさんの楽しい文化祭でした!



高校美術展、開催! (11月1日~11月5日)

県立美術館分館で第47回熊本県高校美術展が開催されました。他公募展と比べ規模が大きいので、力を入れて臨んだ作品が多いのが特徴です。本校からは絵画やデザイン・工芸・立体など多くの作品を出品し、迫力ある作品が並びました。最優秀賞は全国総文祭に出品されます。めざせ、全国総文祭!



出品に向けて制作中の様子

学生応援キャンペーン

通学定期券の購入費用を助成します!

バス・電車などの公共交通を使って通学している市内の学生の皆さんに通学定期券の購入費用を助成します。この機会に通学定期券をぜひご購入ください。



対 バス・電車の通学定期券を購入した市民

期 申請期間 12月1日(木)~令和5年2月28日(火)

■対象定期券 以下の①②の要件を満たすもの

①補助対象区間

通学定期券に記載の乗降場所のいずれか、両方が荒尾市・大牟田市・玉名市・長洲町のバス停・駅である通学定期券。

②補助対象期間

通学定期券の有効期間が令和4年12月1日(木)~令和5年2月28日(火)までの間を含む通学定期券
※乗継定期券などの補助対象区間以外は補助対象外として算定する。



■補助金額

補助対象定期券購入金額×50%(上限30,000円)

※6カ月定期は、その区間の3カ月定期相当額が対象

※補助対象となる1カ月定期券は、最大3回(3カ月分)まで申請可。

※申請者が2つ以上の路線の補助対象定期券を所有する場合、合算し申請可(上限3万円)。

■申請書類

- 申請書
- 本人確認書類の写し
- 学生証の写し
- 通学定期券の写し
- 通帳の写し
- アンケート調査票

制度の詳細や申請書類のダウンロード▶

問 総合政策課 政策推進室 ☎63-1273



巻揚機の前で万田坑ガイドをしている様子。



児童が発案したクリーン大作戦で、地域の皆さんとゴミ拾いをしました。



児童が中心に授業を創る。



運動会も6年生を中心に創り出す。



ひまわりファームで大豆の種まき。



海陽中の先輩や地域の皆さんと一緒に挨拶運動。

わたしたちの学校自慢

今月の学校自慢

万田小学校



万田小は、平成23年に旧二小と旧三小が統合してできた市内の小学校では一番新しい学校です。「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」を教育目標に、児童に身につけてほしい3つの目指す姿を
■主体性…進んで挑戦しようとする姿
■協働性…仲間とともに高めようとする姿
■自律性…自分をコントロールする姿 と定め、日々実践しています。6年生が万田坑の「こどもガイド」を担ったり、児童発信の企画としてクリーン大作戦や花植え、地域の皆さんと一緒に育てた野菜を地域に還元する「ひまわりファーム」などに取り組んだりしています。また、地域の教育力を学校教育にも取り入れ、地域住民の愛情にふれることで児童の地域愛・郷土愛を育み、将来地域に貢献できる子どもが育つ学校を目指しています。

児童が選んだうちの学校自慢!

児童みんなで力を合わせて学校を創っていることが自慢です。委員会活動では、みんなで新しいアイデアを出して、先生と相談しながら活動に取り組んでいます。



児童会リーダー
放送委員長 6年
か くれん
加来 颯太さん

大坪先生は、今年度採用されたばかりのフレッシュな先生で、5・6年生の国語を担当しています。多くの児童が「先生の授業が好き!」と答え、大坪先生の持ち前のポジティブな雰囲気から、教師や児童も「一緒に頑張ろう!」という気持ちになります。

「万田小は、児童会のリーダーを中心に、全校児童が楽しめるイベントや活動に取り組んでいます。その中で、学級はもちろん、他学年の仲間との絆を大切にすると、このが大好きです。いつも児童の優しさに元氣と勇氣をもたらしている、みんなの活躍を全力で応援していきたいです」と話していました。



おおつば ももこ
大坪 桃子先生